
IT/DX事業部 紹介資料

日本GXグループ株式会社

JGX
Japan GX group

日本GX総研
Japan GX Research Institute



GX × DX

DX is essential for Decarbonization.

会社概要 - 基本情報 -

2023年設立当初より、IT/DXおよびGXコンサルティング事業を提供。グループ内には多数のDX・GXの資格保有者が在籍。



会社概要

会社名	日本GXグループ株式会社 (Japan GX Group)
設立	2023年4月14日
資本金	234,500,000円 ※新株予約権・資本準備金を含む
本社	東京都中央区八丁堀3-16-6東八重洲プレイスB1F
代表/株主	共同CEO 吉岡賢史 共同CEO 細目圭佑
役職員	14名 ※受入出向者2名を含む(東邦レオ)
認証	ISO27001
特許 1	特許7598185 Jクレジットの個人等取扱活用方法
特許 2	特許7648262 Jクレジットの予約権取引仲介装置
完全子会社 日本GX総研	共同代表：小川/鳥井 東京都中央区八丁堀4-8-1八丁堀ファーストスクエア4F

資格保有者

炭素会計アドバイザー	8名
ISO14001審査員補	2名
ISO27001審査員補	1名
行政書士	1名
伐木等特別教育 (チェーンソー)	4名
AWS Certified Cloud Practitioner	4名
AWS Certified Solution Architect Associate	1名
AWS Certified Developer Associate	1名
AWS Certified System Administrator Professional	1名
AWS Certified Develops Engineer Professional	1名
AWS Certified Security Specialist	2名
AZ-900 Azure Fundamentals	1名

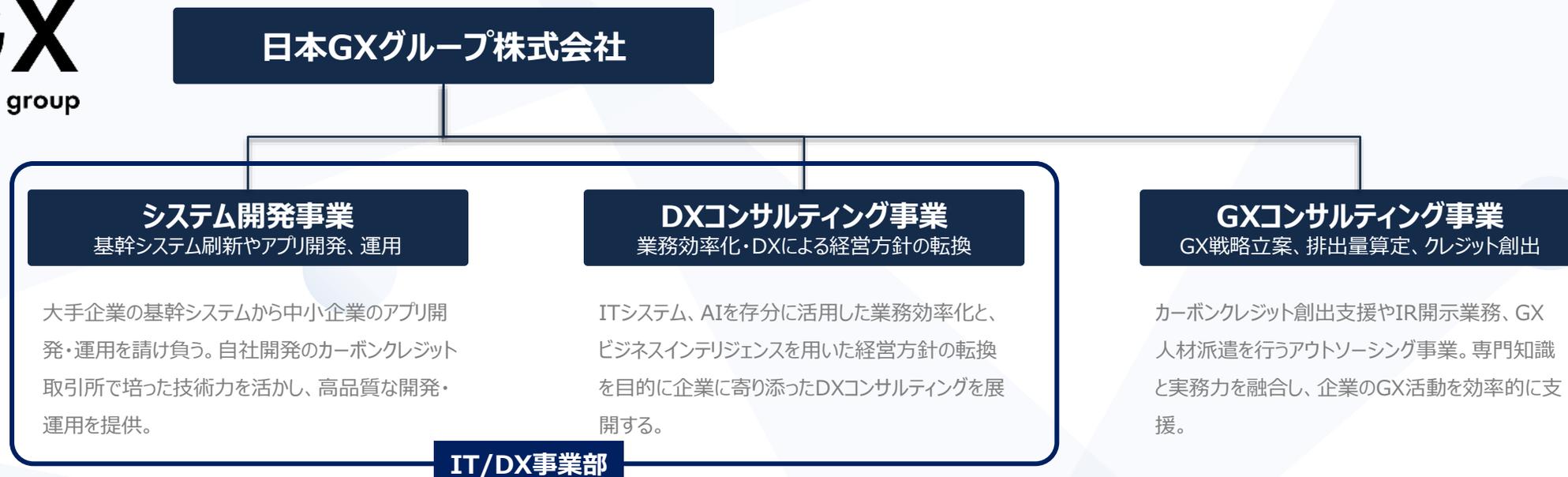
会社概要 - 事業全体像 -

会社全体でコンサルティング事業を展開し、DXとGX領域における企業の課題解決を推進。

JGX
Japan GX group

日本GXグループ株式会社

3つの事業活動



自社の強み

GX事業の立上げからシステムローンチまでの圧倒的なスピードと信頼性



従来のアナログ取引をDX化、国内初の本格的取引基盤を構築。個人売買と予約権取引の特許を取得し、信頼性と流動性を確保。2030年の脱炭素市場を支える基盤として自社で開発/運営。ビジネス要件定義からローンチまで半年で実行。



変化するGX制度・規制をシステム要件への確に反映



金融インフラシステムを創業半年でローンチ



システム開発力とGX知見の両方を持つ人材プール



カーボンプレジット取引のDXを国内最速で社会実装

思いと技術で

働きやすく、生きやすく。



IT/DX事業部 責任者コメント

2020年代中盤にさしかかり、IT技術分野の成長は落ち着くどころかAI台頭により更なる急成長を続けています。利便性と危険性が高まる中、日本GXグループは情報収集力と技術力、泥臭い伴走力を発揮して、企業様の経営強化をより一層加速させるようなご支援に奮闘して参ります。



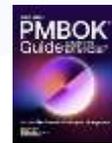
日本GXグループ株式会社
取締役 CTO 関 裕一郎

DXコンサルティング 提供ソリューション



PMO支援

- ✓ データマネジメント戦略の策定
- ✓ 連携基盤/BI活用方法策定
- ✓ データガバナンスの設計



クラウド移行・利活用

- ✓ データマネジメント戦略の策定
- ✓ 連携基盤/BI活用方法策定
- ✓ データガバナンスの設計



データ連携・BI基盤

- ✓ データマネジメント戦略の策定
- ✓ 連携基盤/BI活用方法策定
- ✓ データガバナンスの設計



AI・エージェント導入・利活用支援

- ✓ 業務プロセスの分析
- ✓ 効率化方針・手法の提言/設計
- ✓ 初期導入時の見積り、RFP策定



システム開発 提供ソリューション



基幹システム刷新

- ✓ レガシーシステムの現代化
- ✓ ERP/CRMの導入・カスタマイズ支援
- ✓ マイクロサービス化



業務システム開発

- ✓ 独自業務に特化したフルスクラッチ開発
- ✓ ロー/ノーコードツールを活用した高速開発
- ✓ 既存システムとのAPI連携・自動化実装



セキュリティ向上

- ✓ ゼロトラスト・アーキテクチャの設計・構築
- ✓ 社員向けセキュリティテラシー向上講座
- ✓ SASE検討・導入

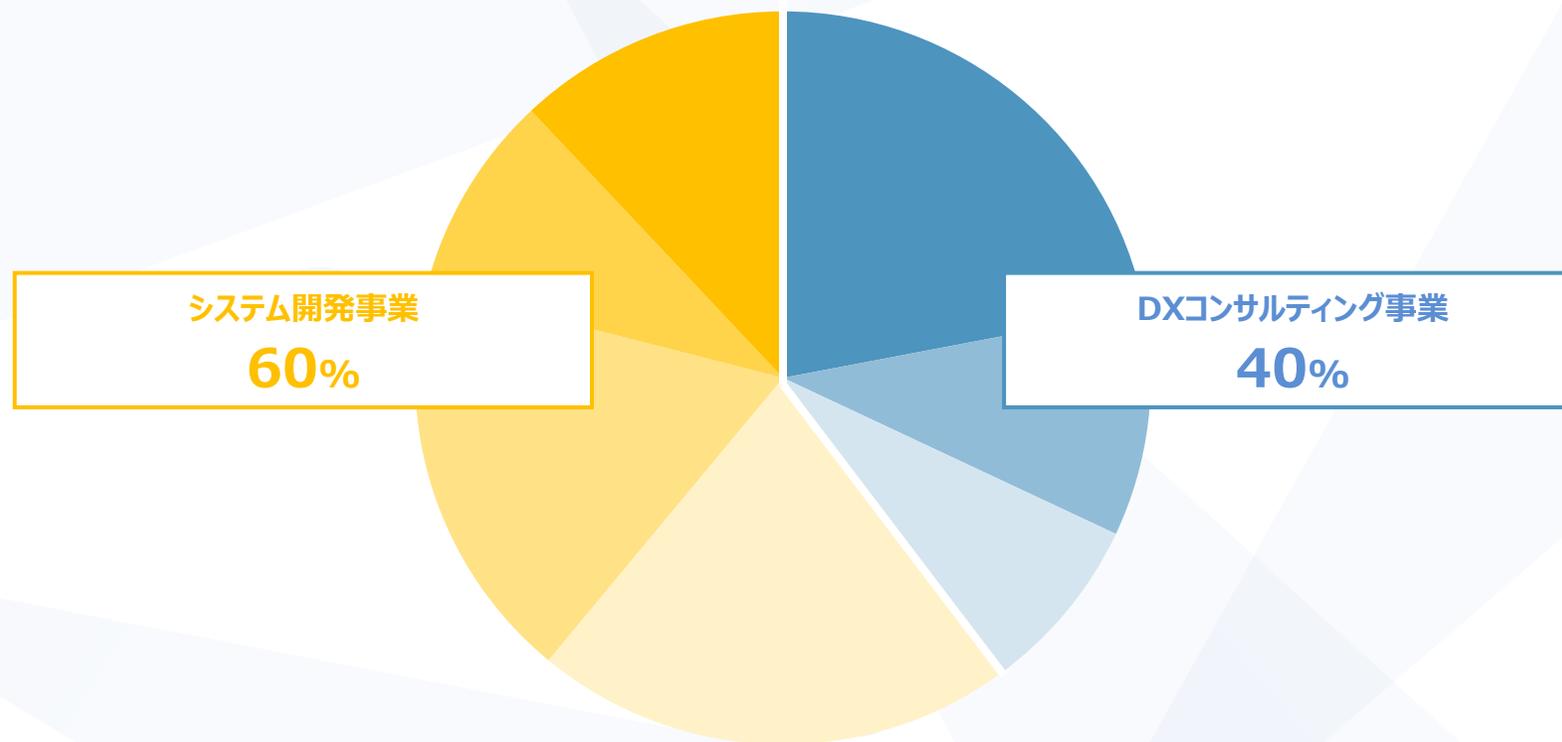


社外向けサービス開発

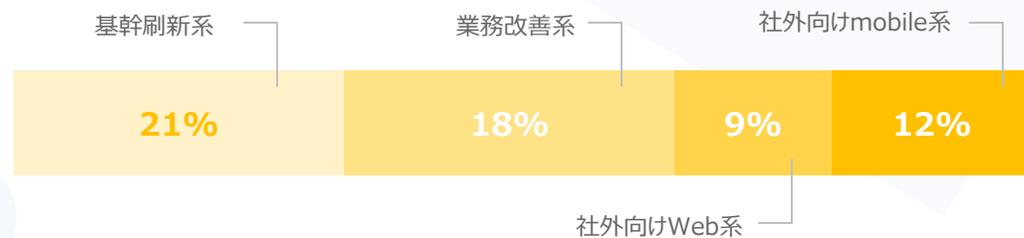
- ✓ B2B/B2C向けSaaS・WebApp開発
- ✓ 直感的なユーザーインターフェース構築
- ✓ クラウドネイティブ環境の実装



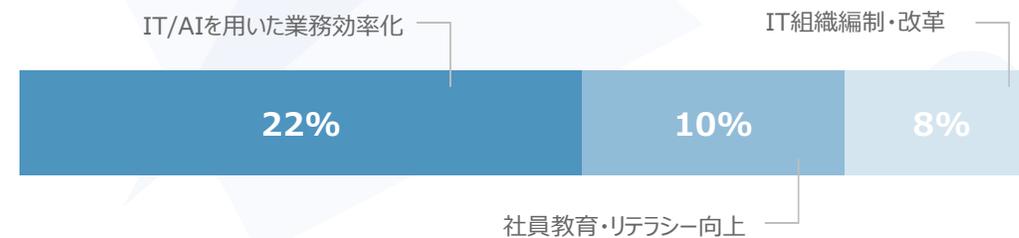
事業部売上構成比



システム開発事業



DXコンサルティング事業



ASIS
支援前

アーキテクチャ指針の未整備



- 指針および管理者の不在
 - アーキテクチャの視点で全体を統制する管理者が存在せず、標準化されたガイドラインも策定されていない。
- プロジェクト品質への悪影響
 - 設計・構築の基準がないため、システム企画や構築段階での考慮漏れが頻発している。
 - 保守運用の効率性やセキュリティリスクへの対応が当初のアーキテクチャに組み込まれず、再設定やテストのやり直しといった手戻りが常態化。工数増大の要因となっている。

AWS各種管理漏れ オブザーバビリティの欠如



- アカウント・ID管理の分散と品質のバラつき
 - 定義や管理品質が統一されておらず、長期間未使用のクレデンシャルが放置されるなど、管理不全が起きている。
- ガバナンス（コスト・セキュリティ）の未整備
 - チェック・是正のプロセスが統制されておらず、監査等の要求に対応できないリスクがある。
- 運用・監視体制の欠如
 - システムを統合的に監視するためのルールや機能（CloudWatch等）が整備されていない。

TOBE
支援後

aws



- 業界標準に基づくガイドライン策定
 - アーキテクチャガイドラインとチェックリストを整備し、全てのプロジェクトが標準化されたルールに基づき設計される体制の確立。
- アーキテクチャ思考を持った自走できる管理体制の構築
 - AWS管理者候補に対し、単なる操作手順だけでなく、なぜその構成にするのかというアーキテクチャの考え方やナレッジを共有。
 - 管理者自身がガイドラインの意図を理解して判断することができ、持続可能で俗人化しない運用体制を確立。

aws



- EntraID連携によるセキュアで効率的な統合ID管理
 - IAM Identity Centerを導入し、EntraIDと連携した統合認証基盤を確立。
 - アカウントごとの個別ID作成が不要になり、入退社時の権限変更が即座に反映されるなど、運用工数の削減とセキュリティリスクの排除を両立。
- Control Towerを活用した継続的なガバナンス統制
 - Control Towerを活用したマルチアカウント管理環境において、コスト・セキュリティの統一ポリシーを適用し、運用手順を確立。

支援
概要

支援期間：6か月間

支援費用：1,000万円

※左記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

お客様の困りごと



SAP運用の「塩漬け」脱却と高度化



バージョンアップに伴う膨大な回歸テストの削減



システム知見の継承と内製化への基盤作り

支援プロセス

- 1 最新トレンドやCAFなどフレームワークを用いた刷新方針の検討・最終化
- 2 Fit-to-Standardによる業務要件の整理
- 3 データ移行・システム構築および単体・結合テスト
- 4 UAT（ユーザー受入テスト）と運用習熟トレーニング
- 5 クラウド環境への移行完了

支援概要

支援期間：**15**か月間

支援費用：**3,500**万円

※上記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

お客様の困りごと



採用難により、限られた人員でこれまでの業務量をこなさなければならない

特定のベテラン社員しかやり方を知らない、あるいは「紙とExcel」によるアナログな運用が限界を迎えている

売上や従業員数が急増したことで、これまでの「阿吽の呼吸」が通用しなくなった

提供ソリューション



業務効率化
継続カイゼン

工数**73%**削減

作業ミス**97%**改善

支援概要

支援期間：**6**か月間

支援費用：**800**万円

※上記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

- 業務内容のヒアリング
- ボトルネックの特定
- 適材適所なAI選定
- 初期導入の実施
- 導入後の効果測定
- 継続カイゼン

支援形式



講義イメージ

第1回：なぜ今セキュリティが必要？ 全社員が気を付けるべきサイバー攻撃の種類と怖さ（ウェビナー形式：60分想定）

対象者	全社員向け	カリキュラム概要	<ul style="list-style-type: none"> 最新サイバー攻撃手法の詳細解説 インシデント発生時の莫大な損害 全社員が当事者である理由の把握 	アクティビティ	【セキュリティ損害のシミュレーション】 万が一事故が起きた際の事業停止リスクや損害額を算出。自分たちの行動が会社に与える影響を可視化します。	
レベル	セキュリティ初学者					

第2回：多くの被害は一通のメールから？！ 身の回りのツールでセキュリティ対策を実践（ウェビナー形式：60分想定）

対象者	全社員向け	カリキュラム概要	<ul style="list-style-type: none"> 標的型メールの巧妙な罠を解剖 既存ツールの設定で行う防御術 不審挙動への適切な初動対応法 	アクティビティ	【フィッシングメール見破り体験】 実在のフィッシングメールを分析し送信元やリンクの違和感を瞬時に察知。即時報告に至るまでの判断力を習得します。	
レベル	セキュリティ初学者					

第3回：現代の情報詐欺に騙されるな！ AI時代に気を付けるべきことを紹介（ウェビナー形式：60分想定）

対象者	全社員向け	カリキュラム概要	<ul style="list-style-type: none"> AIを悪用した最新の詐欺手法 SNS経由の情報流出リスク対策 自律的な判断力と相談文化醸成 	アクティビティ	【AI時代の情報詐欺チェック】 音声模倣や偽動画などAI時代の詐欺を擬似体験。不自然な点を見抜き、被害を未然に防ぐ行動基準を学びます。	
レベル	セキュリティ初学者					

支援概要

支援期間：5か月間

支援費用：350万円

※上記はあくまで実績となります。
 実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

Problem

アジャイル開発が回らない...

改善提案が欲しい...

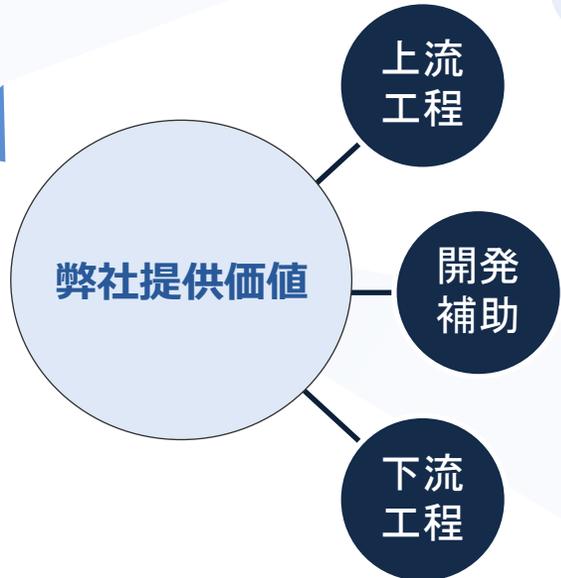
開発/テスト工数が膨大...

お客様のお悩み

計画通りに進まない...

手戻りによる遅れが目立つ...

品質を上げる余裕がない...



要件定義レビュー/フィードバック
上流段階でのテスト計画



スクラム開発手法の導入支援
適切な工数管理で計画的に進行



テスト/不具合分析で傾向調査と対策
MagicPodでテスト自動化を推進

支援概要

支援期間：12か月間

支援費用：2,000万円

※上記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

フェーズ別にアプローチ

対応の背景

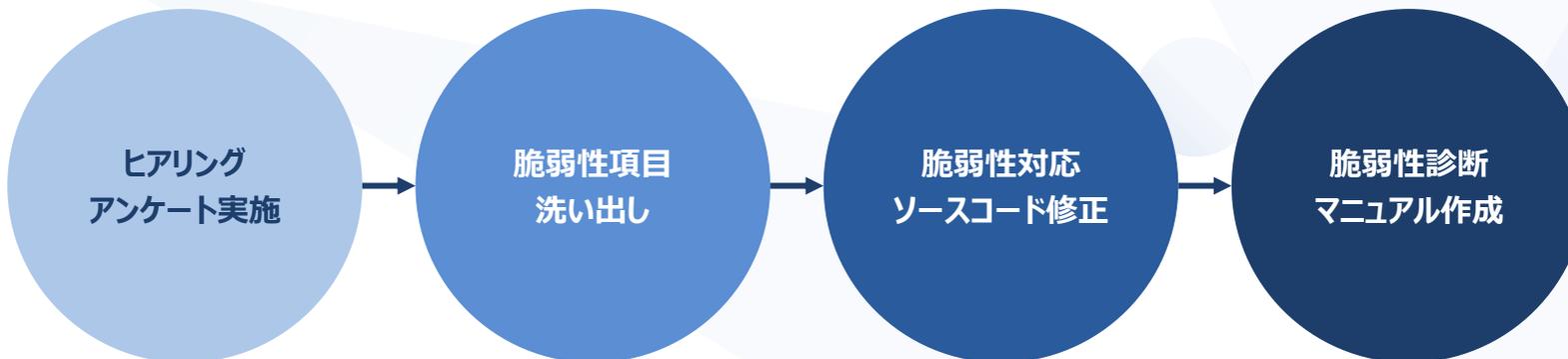
Google API をモバイルアプリで継続的に利用するためには、Google が定めるセキュリティ要件を満たす必要があった。

特に機密性の高い情報を扱うAPI を利用する場合、CASA (Cloud Application Security Assessment) ポータルを通じたセキュリティ対応および申請が必須でした。

これらの要件に未対応の場合、API 利用の制限や停止が発生する可能性があるため、モバイルアプリに対する適切なセキュリティ対策の実施が求められていた。



支援プロセス



支援概要

支援期間：2か月間

支援費用：100万円

※上記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

支援形式

- 複数設備にまたがるIoTデータ基盤構築案件のPMO業務
- センシング技術を保有する複数社のベンダーを束ね、データ基盤構築を手動

システム概要



- 各種センサーからセンシングデータを取得
- データ収集基盤へ送信
- センシングデータの収集、加工、成形
- 様々な切り口でセンシングデータの可視化



支援概要

支援期間：12か月間

支援費用：2,000万円

※上記はあくまで実績となります。
実際の期間・金額はお客様毎にカスタマイズされたソリューションにより異なります

ご不明点・ご要望ございましたら下記までご連絡くださいませ。

日本GXグループ株式会社 コンサルティング事業部担当

mail: strategy@jp-gx.com

Tell: 03-6732-5714